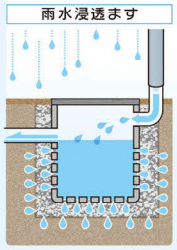
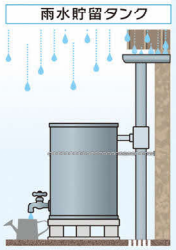
市町村助成制度のご案内

雨水浸透ます・雨水貯留タンク設置の助成制度があります。



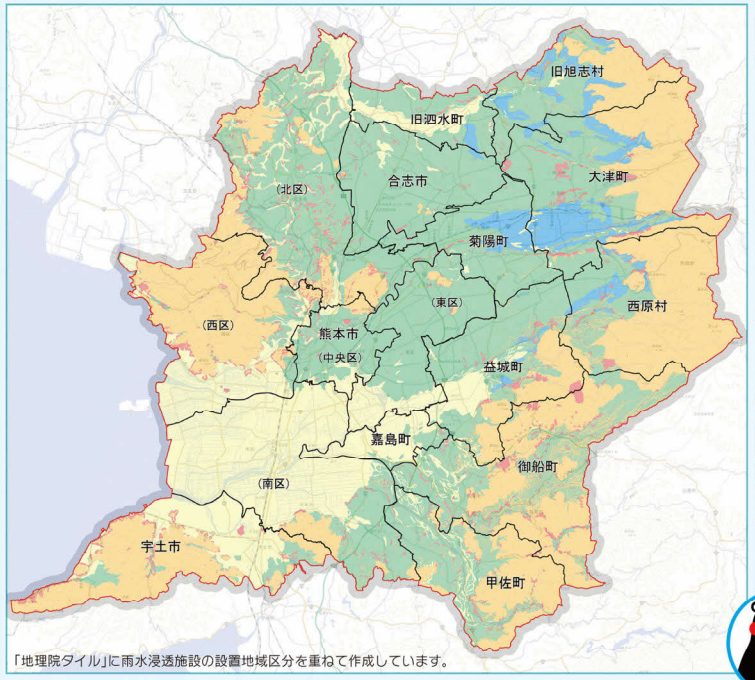


熊本地域の市町村では、雨水浸透ます・雨水貯留タンクを設置する際に助成を行っています。詳しくは、「公益財団法人くまもと地下水財団」のホームページ等を参考にお住まいの市町村窓口へお問い合わせください。

公益財団法人くまもと地下水財団　https://kumamotogwf.or.jp/grant.html
各市町村の助成制度の問合せ窓口と、ホームページのリンクを掲載しています。

適地マップのご紹介

熊本地域における雨水浸透ますの設置効果を示す適地マップがあります。
適地マップは、県ホームページまたは県・市町村窓口で確認できます。



「地理院タイル」に雨水浸透施設の設置地域区分を重ねて作成しています。

凡　例	雨水浸透施設の設置地域区分（説明）
	効果が高い地域 雨水浸透施設の設置効果が高い地域です。
	効果を有する地域 雨水浸透施設の設置効果が見込まれる地域です。
地下水位が高い地域 山地・急斜面等	**要確認地域** 雨水浸透施設の設置にあたって、地下水位や山地・急斜面（ガケ）の位置などの確認が必要な地域です。
	設置が望ましくない地域 法律などにより、雨水浸透施設の設置が望ましくないと判断される地域※です。

・土砂災害警戒区域等
・急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域
・土壌汚染対策法に基づく要措置区域、形質変更時要届出区域
・大規模盛土造成地

※今後更新される可能性があります

くまもとの地下水は私たちで守りましょう。

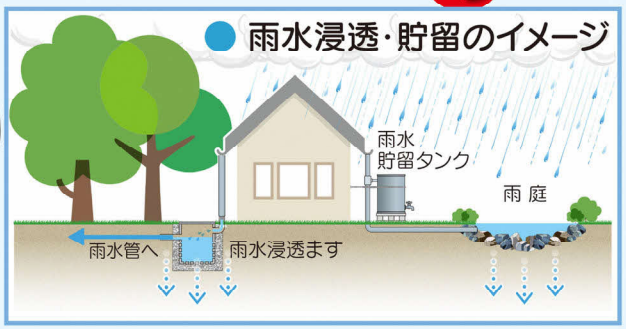
※地域の境界は、参考とした資料の地図精度の違いなどにより、誤差を含む場合があります。
※適地マップはあくまでも目安です。雨水浸透ますを設置する際は施工業者へご相談ください。

熊本県 環境生活部 環境局 環境立県推進課
熊本市中央区水前寺６丁目18番１号　TEL.096-333-2272
https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/49/

雨水浸透（うすいしんとう）でくまもとの地下水を守るモン！

©2010 熊本県くまモン

くまもとの地下水を守ろう！



熊本県 環境生活部 環境局
環境立県推進課

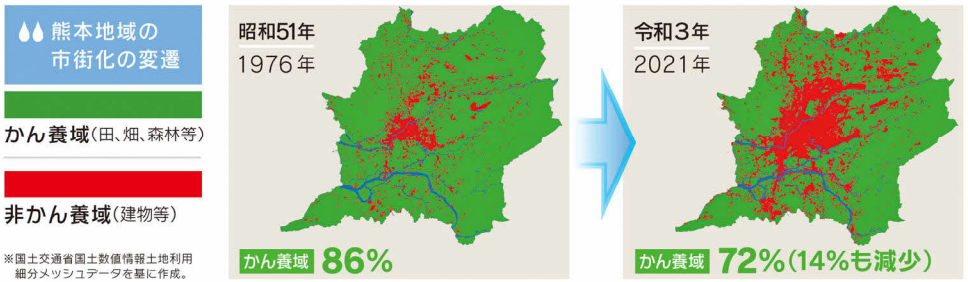
1 熊本地域の地下水

熊本地域※の生活や経済活動は豊富な地下水に支えられており、水道水源としてほぼ100%を地下水でまかなうことのできる、全国に類のない恵まれた地域です。(全国平均約20%)

※熊本地域とは、熊本市、菊池市(旧旭志村、旧泗水町)、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の11市町村の区域のことです。

2 地下水の減少と保全の必要性

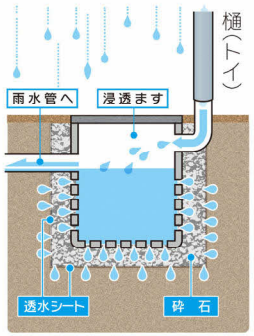
近年、都市化が進んだことで、水田など雨水が地中に浸透する土地(かん養域)が減少しています。熊本地域の地下水を守り、大雨による水害リスクを軽減させるためには、宅地などの雨水が浸透しにくい土地(非かん養域)において、雨水を地中に浸透させる取組が必要です。



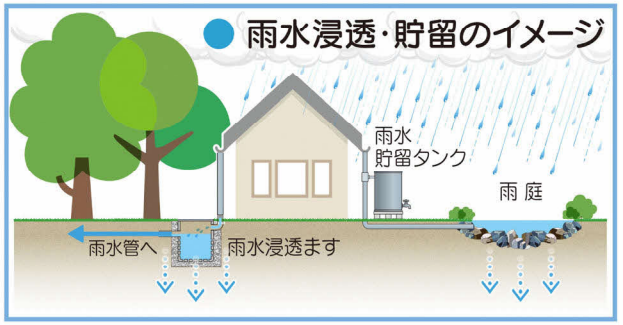
3 家庭でできる雨水浸透の取組

各家庭において雨水浸透ます等の雨水浸透施設を設置することで、宅地でも地下水かん養に取り組むことができます。

雨水浸透ます



庭や駐車スペースに設置した雨水浸透ますから地中に浸み込んだ雨水は、地下水として蓄えられます。



雨水貯留タンク

樋(トイ)にタンクを接続するだけで、雨を溜めることができます。雨を溜めることで、大雨時に一気に雨水が市街地へ流れ出すことを防ぎます。溜まった水は庭の水やりに使用できます。

雨庭(あめにわ)

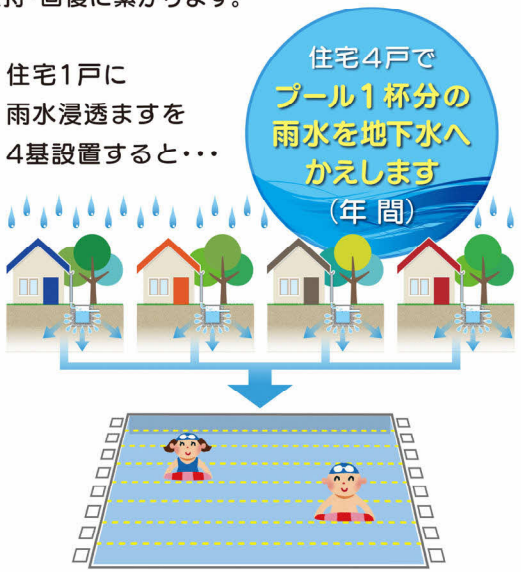
雨を直接敷地外に流さず、一時的に貯留できる雨庭(くぼ地や緑地)を作ることで、雨水をゆっくり地中に浸透させます。

4 こんな効果が期待できます

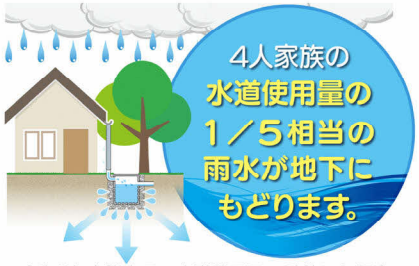
地下水を豊かにします

住宅等に雨水浸透ますを設置することにより、雨水が地下水として蓄えられ、地下水・湧水の維持・回復に繋がります。

住宅1戸に
雨水浸透ますを
4基設置すると・・・



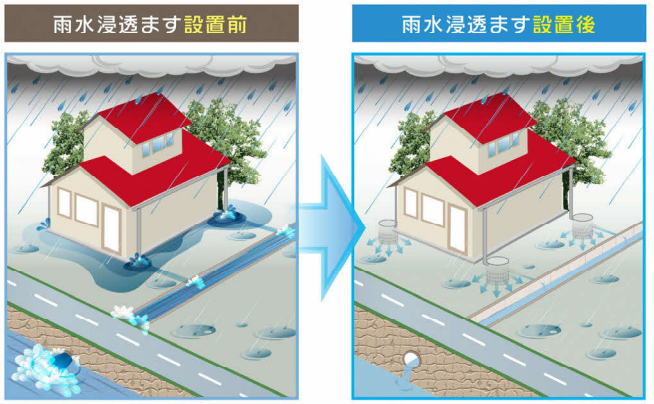
※25mプールで計算した場合



※令和2年度熊本県の水道使用量で計算した場合

水害リスクを減らし、熊本地域を守ることができます

雨水浸透ますなどの雨水浸透施設を設置することで、大雨時に、河川や水路に雨水が集まる時間を遅らせることができ、水害リスクの軽減につながります。



宅地で雨水を地下に浸透させることで、地下水を豊かにし、浸水被害を減らすことができます。